

経済常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第 1 号 平成 25 年度岩国市一般会計補正予算（第 4 号）

議案第 11 号 平成 26 年度岩国市一般会計予算

以上 2 議案のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め、可決すべきものと決しました。

議案第 9 号 平成 25 年度岩国市交通事業会計補正予算（第 1 号）

議案第 20 号 平成 26 年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算

議案第 21 号 平成 26 年度錦帯橋管理特別会計予算

議案第 22 号 平成 26 年度岩国市市場事業特別会計予算

議案第 26 号 平成 26 年度岩国市交通事業会計予算

以上 5 議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第 11 号 平成 26 年度岩国市一般会計予算のうち、当委員会所管分の審査におきまして、農林水産業費の有害鳥獣被害防除事業に関し、員中から、カワウによるアユなどの捕食被害を防除するために、効果的な方法や抜本的な対策について、また、その他の獣害防止対策について、市の取り組み内容に関しての質疑があり、当局より、「平成 25 年度においてカワウの生息調査を実施しており、その結果に基づき、関係 4 漁協と詳細な打ち合わせを行い、錦川の上流側を主に、追い払いと猟銃による捕獲を予定している。カワウの捕獲については、全国的にもかなり捕獲が難しいという情報であり、その方法については、県とも相談しながら研究をしてみたい。また、その他の獣害防止対策の取り組みとしては、柵等の設置費の助成や猟友会へ委託して捕獲を行っている」との答弁がありました。

また、農林水産業費に関し、委員中から、農林業における若い人の雇用の場の確保、林業経営者の育成、森林組合等の支援組織が成り立っていけるような体制づくり、新規就農者への支援策やそのアピールの仕方等、農林業振興に関する市の取り組みについての質疑があり、当局より、「林業については、林道や作業機械といった生産基盤の整備を図り、コストを低減することや木材の需要を高めることが重要であり、国、県、市の総合的な支援が必要である。市としてどういった方法がとれるのか、他市の先進事例を研究していきたい。また、新規就農支援策としては、技術指導、農地のあっせんに関する支援策、施設整備に関する補助制度、制度資金等、新規就農者の経営が定着するまでの間は青年給付金での支援を行っており、今後は、新たな国の施策に沿った岩国市の「人・農地プラン」をつ

くっていく予定である。そうした施策についてより有効的に PR できる方法について、市の積極的な姿勢が見えるような形で今後取り組んでいく」との答弁がありました。

さらに、商工費の錦帯橋鶺鴒飼保存事業に関し、委員中から、今後の運営について、具体的な計画に関する質疑があり、当局より、「ウ飼い事業については、ウ飼い保存事業と遊覧事業を分け、ウ飼い保存事業については、岩国市観光協会に委託する方向で進めており、遊覧事業については、観光協会の事業として4月1日から事業を開始するという前提で準備を進めている。ウ飼いの時期はこれまでどおり6月1日から開始したいと考えており、春の遊覧事業は、お花見の時期に合わせてスタートできるよう観光協会のほうで準備をされている」との答弁がありました。

これを受けて委員中から、今までとは仕組みが変わることとなり、今後の取り組みとして、岩国市観光協会と市の連携についての質疑があり、当局より「担当部署において岩国市観光協会と何度も話し合いをしてきており、観光協会のほうでもいろいろ工夫をして、様々な新たな取り組みをされると聞いている。今後とも観光協会と市が十分連携を取りながら事業を進めてまいりたい」との答弁がありました。

本議案のうち、当委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。
以上で、経済常任委員会の審査報告を終わります。